

作成年月日	令和3年 7月 5日
作成部局課室名	企画県民部広聴課 健康福祉部生活衛生課

第1回県民モニターアンケート「食の安全安心について」の調査結果

第1回県民モニターアンケート調査「食の安全安心について」の調査結果をとりまとめました。アンケート結果は、「兵庫県食の安全安心推進計画」の改定や兵庫県認証食品のPR等に活用します。

1 調査概要

- (1)調査対象者：県民モニター 2,206人
(2)調査期間：令和3年5月14日(金)
～5月31日(月)[18日間]
(3)調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
(4)回答者数：1,637人(回答率74.2%)

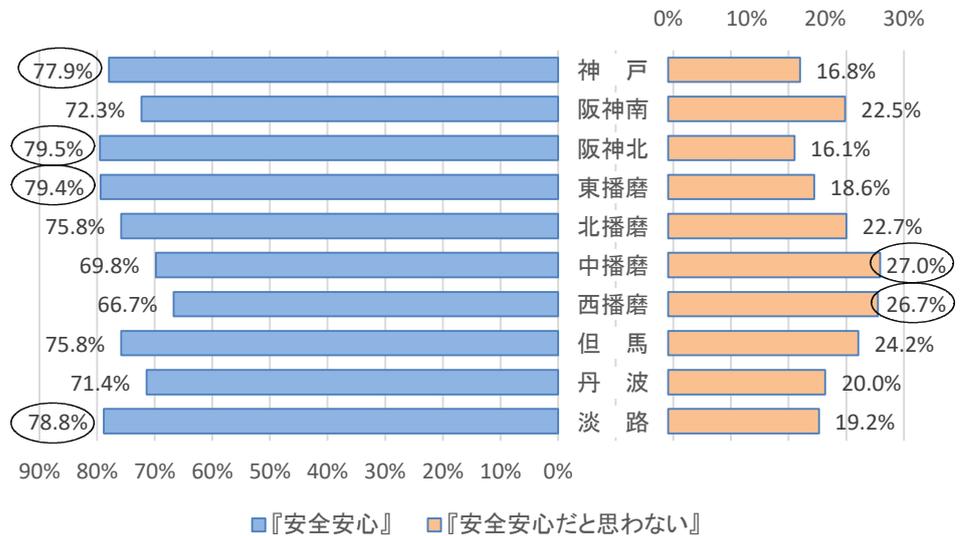
		対象者	回答者	回答率
性別	男性	1,020	815	79.9%
	女性	1,186	822	69.3%
年代別	10～20代	74	43	58.1%
	30代	224	129	57.6%
	40代	392	261	66.6%
	50代	478	349	73.0%
	60代	480	388	80.8%
	70代以上	558	467	83.7%

2 調査結果の概要

項目	アンケート結果												
食品の安全安心についての認識 [Q1] あなたは、現在流通している食品は安全安心だと思いますか。(1つ選択)	<p>「安全安心だと思う(7.3%)」「どちらかという安全安心だと思う(68.8%)」を合わせた『安全安心』は7割を超えている(76.1%)。</p> <table border="1"> <caption>アンケート結果の概要</caption> <thead> <tr> <th>認識</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全安心だと思う</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという安全安心だと思う</td> <td>68.8%</td> </tr> <tr> <td>安全安心だかわからない</td> <td>4.4%</td> </tr> <tr> <td>どちらかという安全安心だと思わない</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>『安全安心』(合計)</td> <td>76.1%</td> </tr> </tbody> </table>	認識	割合	安全安心だと思う	7.3%	どちらかという安全安心だと思う	68.8%	安全安心だかわからない	4.4%	どちらかという安全安心だと思わない	15.0%	『安全安心』(合計)	76.1%
認識	割合												
安全安心だと思う	7.3%												
どちらかという安全安心だと思う	68.8%												
安全安心だかわからない	4.4%												
どちらかという安全安心だと思わない	15.0%												
『安全安心』(合計)	76.1%												

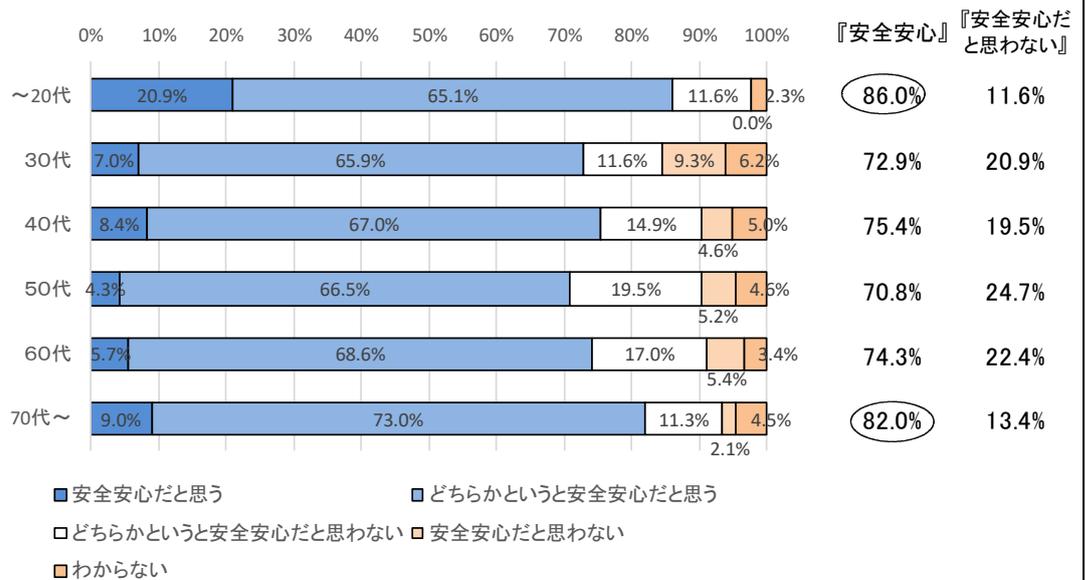
【地域別】

『安全安心』は阪神北(79.5%)、東播磨(79.4%)、淡路(78.8%)、神戸(77.9%)で高くなっており、「どちらかといえば安全安心と思わない」と「安全安心と思わない」を合わせた『安全安心だと思わない』は中播磨(27.0%)、西播磨(26.7%)で高くなっている。



【年代別】

～20代、70代以上は『安全安心』が8割を超えている(86.0%、82.0%)。

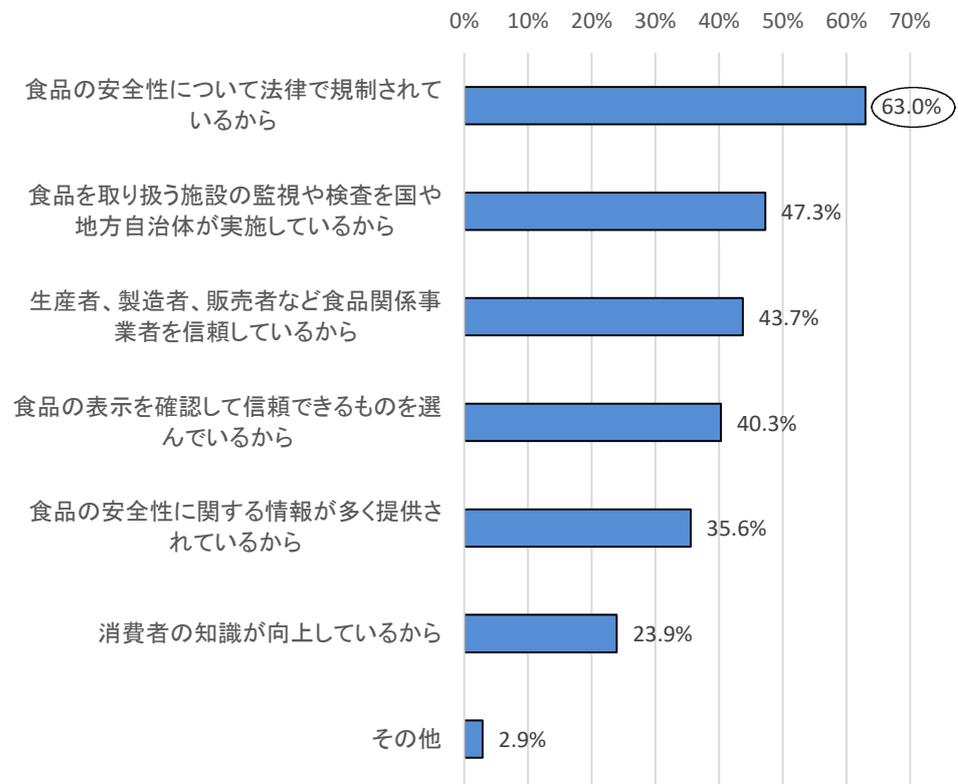


項 目	アンケート結果
-----	---------

食品が安全安心だと思える理由

[Q2] Q1で選択肢「安全安心だと思える」、「どちらかというとも安全安心だと思える」を選ばれた方にお聞きします。食品が安全安心だと思える理由は何ですか。(いくつでも)

「食の安全性について法律で規制されているから」が6割を超えている(63.0%)。



【地域別】

全体で最も高い「食品の安全性について法律で規制されているから」は、全ての地域で最も高くなっている。

	食品の安全性について法律で規制されているから	食品を取り扱う施設の監視や検査を国や地方自治体が行っているから	生産者、製造者、販売者など食品関係事業者を信頼しているから	食品の表示を確認して信頼できるものを選んでいるから	食品の安全性に関する情報が多く提供されているから	消費者の知識が向上しているから	その他	
全 県	① 63.0%	② 47.3%	③ 43.7%	④ 40.3%	⑤ 35.6%	⑥ 23.9%	⑦ 2.9%	
県 民 局 別	神 戸	① 64.7%	② 49.3%	③ 43.7%	④ 41.1%	⑤ 35.1%	⑥ 24.4%	⑦ 2.3%
	阪神南	① 58.1%	③ 41.3%	② 44.9%	③ 41.3%	⑤ 33.5%	⑥ 24.0%	⑦ 5.4%
	阪神北	① 62.5%	② 52.3%	③ 38.3%	⑤ 36.7%	③ 38.3%	⑥ 25.0%	⑦ 2.3%
	東播磨	① 61.4%	② 46.4%	④ 38.6%	③ 43.4%	⑤ 33.1%	⑥ 19.3%	⑦ 2.4%
	北播磨	① 64.0%	② 46.0%	③ 42.0%	④ 40.0%	⑤ 32.0%	⑥ 22.0%	⑦ 2.0%
	中播磨	① 65.9%	③ 40.9%	② 45.5%	④ 38.6%	④ 38.6%	⑥ 25.0%	⑦ 2.3%
	西播磨	① 70.0%	③ 52.5%	② 62.5%	⑤ 37.5%	④ 47.5%	⑥ 22.5%	⑦ 5.0%
	但 馬	① 64.0%	③ 56.0%	① 64.0%	④ 48.0%	⑤ 40.0%	⑥ 28.0%	⑦ 0.0%
	丹 波	① 68.0%	③ 44.0%	③ 44.0%	⑤ 32.0%	② 52.0%	⑤ 32.0%	⑦ 0.0%
	淡 路	① 48.8%	③ 41.5%	① 48.8%	④ 31.7%	⑥ 26.8%	⑤ 29.3%	⑦ 4.9%
ポイント差	21.2	15.1	25.7	16.3	25.2	12.7	5.4	

○数字はその県民局・センターでの順位

■ 回答項目での最高値
■ 回答項目での最低値

項 目	アンケート結果																																	
<p>食品が安全安心だと思わない理由</p> <p>[Q2-2] Q1で選択肢「どちらかという安全安心だと思わない」、「安全安心だと思わない」を選ばれた方にお聞きします。食品が安全安心だと思わない理由は何ですか。(いくつかつでも)</p>	<p>「生産者や食品関係事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問を感じるから(55.8%)」「食品の規格基準や表示の規制が不十分だから(55.5%)」が高くなっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>理由</th> <th>R3 (%)</th> <th>H28 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産者や食品関係事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問を感じるから</td> <td>55.8%</td> <td>64.9%</td> </tr> <tr> <td>食品の規格基準や表示の規制が不十分だから</td> <td>55.5%</td> <td>33.0%</td> </tr> <tr> <td>過去に問題となった事件が多く、今後も不安だから</td> <td>43.6%</td> <td>56.7%</td> </tr> <tr> <td>食品のリスクの有無について科学的な根拠に疑問を感じるから</td> <td>42.0%</td> <td>41.7%</td> </tr> <tr> <td>生産者や食品関係事業者から提供される情報が少ないから</td> <td>36.4%</td> <td>36.5%</td> </tr> <tr> <td>行政から提供される情報が少ないから</td> <td>21.9%</td> <td>25.5%</td> </tr> <tr> <td>行政の取り組みが不十分であるから</td> <td>21.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漠然とした不安があるから</td> <td>20.4%</td> <td>30.2%</td> </tr> <tr> <td>食の安全安心について学べる機会が少ないから</td> <td>16.0%</td> <td>22.4%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>11.0%</td> <td>7.4%</td> </tr> </tbody> </table>	理由	R3 (%)	H28 (%)	生産者や食品関係事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問を感じるから	55.8%	64.9%	食品の規格基準や表示の規制が不十分だから	55.5%	33.0%	過去に問題となった事件が多く、今後も不安だから	43.6%	56.7%	食品のリスクの有無について科学的な根拠に疑問を感じるから	42.0%	41.7%	生産者や食品関係事業者から提供される情報が少ないから	36.4%	36.5%	行政から提供される情報が少ないから	21.9%	25.5%	行政の取り組みが不十分であるから	21.6%		漠然とした不安があるから	20.4%	30.2%	食の安全安心について学べる機会が少ないから	16.0%	22.4%	その他	11.0%	7.4%
理由	R3 (%)	H28 (%)																																
生産者や食品関係事業者の法令遵守や衛生管理の実態に疑問を感じるから	55.8%	64.9%																																
食品の規格基準や表示の規制が不十分だから	55.5%	33.0%																																
過去に問題となった事件が多く、今後も不安だから	43.6%	56.7%																																
食品のリスクの有無について科学的な根拠に疑問を感じるから	42.0%	41.7%																																
生産者や食品関係事業者から提供される情報が少ないから	36.4%	36.5%																																
行政から提供される情報が少ないから	21.9%	25.5%																																
行政の取り組みが不十分であるから	21.6%																																	
漠然とした不安があるから	20.4%	30.2%																																
食の安全安心について学べる機会が少ないから	16.0%	22.4%																																
その他	11.0%	7.4%																																

項 目	アンケート結果																																										
<p>食品の安全安心に関して不安に思うこと</p> <p>[Q2-3] Q1で選択肢「どちらかという安全安心だと思わない」、「安全安心だと思わない」を選ばれた方にお聞きします。食品の安全安心に関して不安に思うことは何ですか。(いくつでも)</p>	<p>「調味料や香料、着色料、保存料などの「添加物」(85.3%)」が最も高く、「輸入食品の安全性(79.3%)」が続いている。</p> <p>■ R3 ■ H28</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>不安の項目</th> <th>R3 (%)</th> <th>H28 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調味料や香料、着色料、保存料などの「添加物」</td> <td>85.3%</td> <td>69.9%</td> </tr> <tr> <td>「輸入食品」の安全性</td> <td>79.3%</td> <td>72.4%</td> </tr> <tr> <td>農作物や畜産物(牛、豚、鶏など)に残っている「残留農薬」</td> <td>69.6%</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>家畜の病気の予防や治療などに使用し、畜産物に残っている「残留抗生物質」</td> <td>62.1%</td> <td>47.3%</td> </tr> <tr> <td>「遺伝子組換え作物」を使用した食品の安全性</td> <td>59.6%</td> <td>46.8%</td> </tr> <tr> <td>「食品表示」の信頼性</td> <td>56.4%</td> <td>44.8%</td> </tr> <tr> <td>カドミウムやメチル水銀、ダイオキシンなどの「環境汚染物質」</td> <td>52.4%</td> <td>51.0%</td> </tr> <tr> <td>食品に含まれる「放射性物質」</td> <td>29.5%</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>いわゆる「健康食品」の安全性</td> <td>29.2%</td> <td>29.2%</td> </tr> <tr> <td>BSE(牛海綿状脳症)や高病原性鳥インフルエンザなどの「家畜伝染病」</td> <td>28.5%</td> <td>42.7%</td> </tr> <tr> <td>食中毒の原因となる「病原性微生物(O157やノロウイルス)」</td> <td>24.5%</td> <td>55.7%</td> </tr> <tr> <td>卵や小麦、そばなどの「アレルギー物質」</td> <td>10.3%</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.4%</td> <td>6.1%</td> </tr> </tbody> </table>	不安の項目	R3 (%)	H28 (%)	調味料や香料、着色料、保存料などの「添加物」	85.3%	69.9%	「輸入食品」の安全性	79.3%	72.4%	農作物や畜産物(牛、豚、鶏など)に残っている「残留農薬」	69.6%	62.5%	家畜の病気の予防や治療などに使用し、畜産物に残っている「残留抗生物質」	62.1%	47.3%	「遺伝子組換え作物」を使用した食品の安全性	59.6%	46.8%	「食品表示」の信頼性	56.4%	44.8%	カドミウムやメチル水銀、ダイオキシンなどの「環境汚染物質」	52.4%	51.0%	食品に含まれる「放射性物質」	29.5%	40.0%	いわゆる「健康食品」の安全性	29.2%	29.2%	BSE(牛海綿状脳症)や高病原性鳥インフルエンザなどの「家畜伝染病」	28.5%	42.7%	食中毒の原因となる「病原性微生物(O157やノロウイルス)」	24.5%	55.7%	卵や小麦、そばなどの「アレルギー物質」	10.3%	13.5%	その他	4.4%	6.1%
不安の項目	R3 (%)	H28 (%)																																									
調味料や香料、着色料、保存料などの「添加物」	85.3%	69.9%																																									
「輸入食品」の安全性	79.3%	72.4%																																									
農作物や畜産物(牛、豚、鶏など)に残っている「残留農薬」	69.6%	62.5%																																									
家畜の病気の予防や治療などに使用し、畜産物に残っている「残留抗生物質」	62.1%	47.3%																																									
「遺伝子組換え作物」を使用した食品の安全性	59.6%	46.8%																																									
「食品表示」の信頼性	56.4%	44.8%																																									
カドミウムやメチル水銀、ダイオキシンなどの「環境汚染物質」	52.4%	51.0%																																									
食品に含まれる「放射性物質」	29.5%	40.0%																																									
いわゆる「健康食品」の安全性	29.2%	29.2%																																									
BSE(牛海綿状脳症)や高病原性鳥インフルエンザなどの「家畜伝染病」	28.5%	42.7%																																									
食中毒の原因となる「病原性微生物(O157やノロウイルス)」	24.5%	55.7%																																									
卵や小麦、そばなどの「アレルギー物質」	10.3%	13.5%																																									
その他	4.4%	6.1%																																									

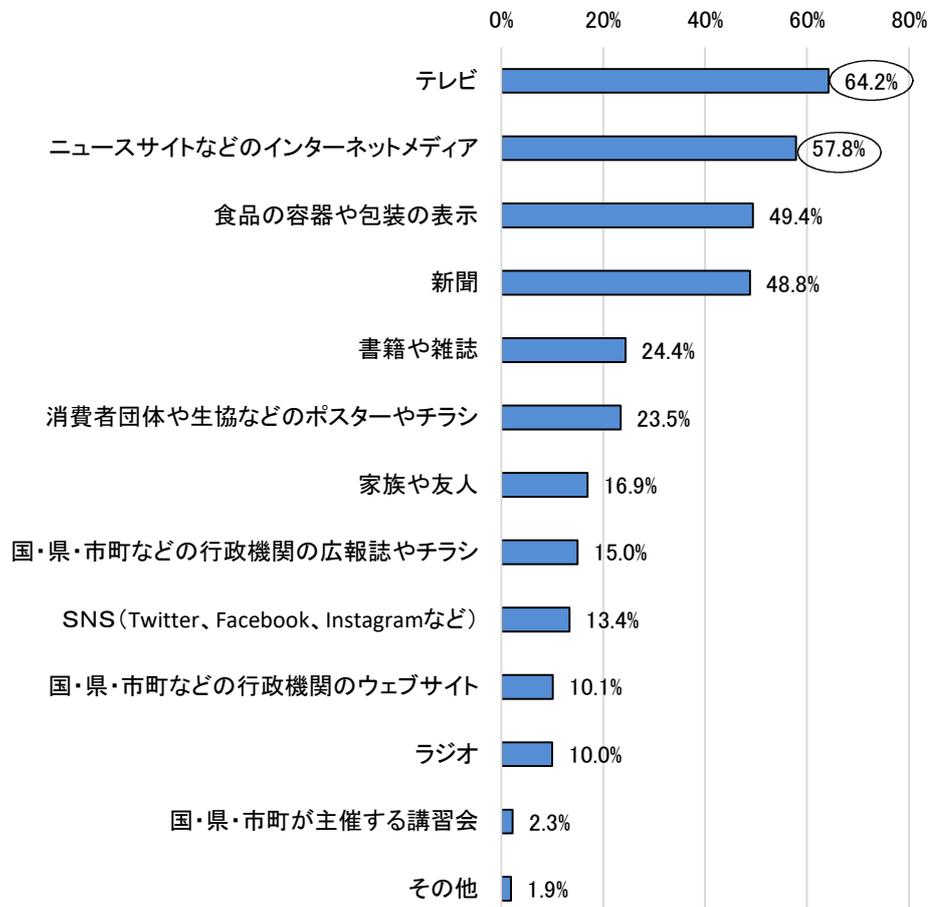
項 目	アンケート結果																
<p>食品の安全安心を確保するために最も重要な段階</p> <p>[Q3] あなたは、食品の安全性を確保するためには、食品の生産から消費までのうち、どの段階が最も重要と考えますか。</p> <p>(最大3つ)</p>	<p>「食品の製造や加工段階(89.2%)」と「農作物や畜産物の生産段階(84.2%)」が8割を超えている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>段階</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農作物(野菜・穀物)や畜産物(牛・豚・鶏など)の生産段階</td> <td>84.2%</td> </tr> <tr> <td>食品の製造や加工段階</td> <td>89.2%</td> </tr> <tr> <td>食品の流通段階</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>飲食店などの食材の取扱いや調理の段階</td> <td>33.2%</td> </tr> <tr> <td>食品の販売段階</td> <td>19.9%</td> </tr> <tr> <td>家庭での食材の取扱いや調理の段階</td> <td>10.1%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>生産 → 消費</p>	段階	割合	農作物(野菜・穀物)や畜産物(牛・豚・鶏など)の生産段階	84.2%	食品の製造や加工段階	89.2%	食品の流通段階	33.6%	飲食店などの食材の取扱いや調理の段階	33.2%	食品の販売段階	19.9%	家庭での食材の取扱いや調理の段階	10.1%	その他	2.0%
段階	割合																
農作物(野菜・穀物)や畜産物(牛・豚・鶏など)の生産段階	84.2%																
食品の製造や加工段階	89.2%																
食品の流通段階	33.6%																
飲食店などの食材の取扱いや調理の段階	33.2%																
食品の販売段階	19.9%																
家庭での食材の取扱いや調理の段階	10.1%																
その他	2.0%																

項 目	アンケート結果
-----	---------

食品の安全性に関する情報の入手経路

[Q4] あなたは、食品の安全性に関する情報について、どこから得ることが多いですか。

「テレビ(64.2%)」が最も高く、次に「ニュースサイトなどのインターネットメディア(57.8%)」となっている。



【年代別】

50代までは「ニュースサイトなどのインターネットメディア」が最も高く、60代以降は「テレビ」が最も高くなっている。

	テレビ	ニュースサイトなどのインターネットメディア	食品の容器や包装の表示	新聞	書籍や雑誌	消費者団体や生協などのポスターやチラシ	家族や友人	国・県・市町などの行政機関の広報誌やチラシ	SNS (Twitter、Facebook、Instagramなど)	国・県・市町などの行政機関のウェブサイト	ラジオ	国・県・市町が主催する講習会	その他
全体	① 64.2%	② 57.8%	③ 49.4%	④ 48.8%	⑤ 24.4%	⑥ 23.5%	⑦ 16.9%	⑧ 15.0%	⑨ 13.4%	⑩ 10.1%	⑪ 10.0%	⑫ 2.3%	⑬ 1.9%
~20代	② 53.5%	① 69.8%	② 53.5%	④ 30.2%	⑤ 27.9%	⑧ 14.0%	⑦ 18.6%	⑧ 14.0%	⑤ 27.9%	⑩ 11.6%	⑪ 4.7%	⑬ 0.0%	⑪ 4.7%
30代	② 52.7%	① 68.2%	③ 41.9%	⑦ 14.0%	⑤ 21.7%	⑦ 14.0%	⑥ 20.9%	⑪ 3.9%	④ 29.5%	⑨ 7.8%	⑨ 7.8%	⑬ 1.6%	⑫ 3.1%
40代	② 57.1%	① 69.0%	③ 39.5%	④ 34.9%	⑤ 21.8%	⑦ 14.6%	⑧ 12.3%	⑪ 6.1%	⑥ 18.0%	⑩ 7.3%	⑨ 8.4%	⑬ 1.9%	⑫ 4.2%
50代	② 63.0%	① 66.8%	③ 47.6%	④ 45.0%	⑤ 28.4%	⑥ 16.9%	⑦ 15.5%	⑩ 10.9%	⑦ 15.5%	⑨ 12.0%	⑪ 8.0%	⑫ 2.0%	⑬ 1.4%
60代	① 65.2%	② 54.6%	③ 53.1%	④ 52.3%	⑤ 26.8%	⑥ 25.0%	⑦ 16.0%	⑧ 13.7%	⑩ 11.1%	⑪ 6.4%	⑨ 12.6%	⑫ 3.4%	⑬ 0.8%
70代~	① 72.4%	④ 43.7%	③ 54.8%	② 67.9%	⑦ 21.2%	⑤ 35.5%	⑧ 20.1%	⑥ 27.2%	⑪ 5.4%	⑨ 13.9%	⑩ 11.3%	⑫ 2.1%	⑬ 1.3%
ポイント差	19.7	26.1	15.3	53.9	7.2	21.5	8.6	23.3	24.1	7.5	7.9	3.4	3.9

○数字はその年代での順位
 回答項目での最高値
 回答項目での最低値

項 目	アンケート結果																																																			
<p>食品の安全安心について知りたい情報</p> <p>[Q5] 食の安全安心について、あなたが知りたい情報は何か。(いくつかでも)</p> <p>【兵庫県認証食品】 県産食品が持つ本来のおいしさ等が十分に評価されるように、安全、安心で個性・特長がある県産食品を「兵庫県認証食品」として認証したものの。</p> <p>【兵庫県食品衛生管理プログラム（県版HACCP認定制度）】 安全で安心な食品を提供するため、HACCP（※1）に基づく自主衛生管理や、食品トレーサビリティ（※2）の取組が一定水準以上である県内の食品関係事業所について、知事が認定する制度。 認定された施設で製造された食品には認定マークを表示することができる。</p> <p>※1 HACCP…食品の製造において重要な工程を連続的に監視することで製品の安全性を保証しようとする手法</p> <p>※2 食品トレーサビリティ…生産、加工、流通等の各段階で原材料の出所や食品の製造元、販売先等の情報を記録・保管し、食品とその情報を追跡・遡及できるようにすること</p>	<p>「添加物や農薬に関すること(73.4%)」が最も高く、「食品の表示に関すること(55.9%)」、「食中毒や違反食品の発生状況(53.0%)」が続いている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3 (%)</th> <th>H28 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>添加物や農薬に関すること</td> <td>73.4%</td> <td>62.3%</td> </tr> <tr> <td>食品の表示に関すること</td> <td>55.9%</td> <td>46.9%</td> </tr> <tr> <td>食中毒や違反食品の発生状況</td> <td>53.0%</td> <td>62.6%</td> </tr> <tr> <td>県の食の安全安心の取組</td> <td>43.7%</td> <td>39.8%</td> </tr> <tr> <td>食品の抜き打ち検査の結果</td> <td>41.1%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>食品の製造所や販売店への立入調査結果</td> <td>35.9%</td> <td>39.5%</td> </tr> <tr> <td>家畜伝染病の発生状況</td> <td>31.6%</td> <td>41.7%</td> </tr> <tr> <td>地産地消に関すること</td> <td>30.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食中毒の予防方法</td> <td>26.5%</td> <td>35.0%</td> </tr> <tr> <td>アレルギーに関すること</td> <td>22.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>兵庫県認証食品</td> <td>21.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食品の自主回収</td> <td>20.8%</td> <td>30.0%</td> </tr> <tr> <td>県版HACCP(ハサップ)の認定施設</td> <td>18.6%</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>食品に関する講習会やイベント等</td> <td>10.4%</td> <td>20.7%</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>1.0%</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.4%</td> <td>3.7%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R3 (%)	H28 (%)	添加物や農薬に関すること	73.4%	62.3%	食品の表示に関すること	55.9%	46.9%	食中毒や違反食品の発生状況	53.0%	62.6%	県の食の安全安心の取組	43.7%	39.8%	食品の抜き打ち検査の結果	41.1%	50.0%	食品の製造所や販売店への立入調査結果	35.9%	39.5%	家畜伝染病の発生状況	31.6%	41.7%	地産地消に関すること	30.1%		食中毒の予防方法	26.5%	35.0%	アレルギーに関すること	22.7%		兵庫県認証食品	21.8%		食品の自主回収	20.8%	30.0%	県版HACCP(ハサップ)の認定施設	18.6%	40.0%	食品に関する講習会やイベント等	10.4%	20.7%	特になし	1.0%	1.5%	その他	1.4%	3.7%
項目	R3 (%)	H28 (%)																																																		
添加物や農薬に関すること	73.4%	62.3%																																																		
食品の表示に関すること	55.9%	46.9%																																																		
食中毒や違反食品の発生状況	53.0%	62.6%																																																		
県の食の安全安心の取組	43.7%	39.8%																																																		
食品の抜き打ち検査の結果	41.1%	50.0%																																																		
食品の製造所や販売店への立入調査結果	35.9%	39.5%																																																		
家畜伝染病の発生状況	31.6%	41.7%																																																		
地産地消に関すること	30.1%																																																			
食中毒の予防方法	26.5%	35.0%																																																		
アレルギーに関すること	22.7%																																																			
兵庫県認証食品	21.8%																																																			
食品の自主回収	20.8%	30.0%																																																		
県版HACCP(ハサップ)の認定施設	18.6%	40.0%																																																		
食品に関する講習会やイベント等	10.4%	20.7%																																																		
特になし	1.0%	1.5%																																																		
その他	1.4%	3.7%																																																		

項 目	アンケート結果																																	
<p>食品の安全安心について県に求めること</p> <p>[Q6] 食の安全安心について、あなたが県に対して求めることは何ですか。(いくつでも)</p>	<p>「法令違反があった内容の公開(73.7%)」が最も高く、「食の安全安心に関する各種情報の提供(64.4%)」、「生産から製造に至る各工程での指導や立入調査(63.3%)」が続いている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R3 (%)</th> <th>H28 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法令違反があった内容の公開</td> <td>73.7%</td> <td>76.1%</td> </tr> <tr> <td>食の安全安心に関する各種情報の提供</td> <td>64.4%</td> <td>59.2%</td> </tr> <tr> <td>生産から製造に至る各工程での指導や立入調査</td> <td>63.3%</td> <td>57.3%</td> </tr> <tr> <td>兵庫県認証食品制度のさらなる推進</td> <td>33.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県版HACCP認定制度のさらなる推進</td> <td>26.5%</td> <td>39.7%</td> </tr> <tr> <td>食の安全安心に関する講習会などの学習機会づくり</td> <td>19.7%</td> <td>25.6%</td> </tr> <tr> <td>県民、事業者、行政が相互に意見を交換できる機会づくり</td> <td>17.8%</td> <td>20.5%</td> </tr> <tr> <td>子どもを対象とした手洗い教室などの衛生教育</td> <td>16.3%</td> <td>21.9%</td> </tr> <tr> <td>特になし</td> <td>1.3%</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.8%</td> <td>4.1%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R3 (%)	H28 (%)	法令違反があった内容の公開	73.7%	76.1%	食の安全安心に関する各種情報の提供	64.4%	59.2%	生産から製造に至る各工程での指導や立入調査	63.3%	57.3%	兵庫県認証食品制度のさらなる推進	33.9%		県版HACCP認定制度のさらなる推進	26.5%	39.7%	食の安全安心に関する講習会などの学習機会づくり	19.7%	25.6%	県民、事業者、行政が相互に意見を交換できる機会づくり	17.8%	20.5%	子どもを対象とした手洗い教室などの衛生教育	16.3%	21.9%	特になし	1.3%	1.4%	その他	1.8%	4.1%
項目	R3 (%)	H28 (%)																																
法令違反があった内容の公開	73.7%	76.1%																																
食の安全安心に関する各種情報の提供	64.4%	59.2%																																
生産から製造に至る各工程での指導や立入調査	63.3%	57.3%																																
兵庫県認証食品制度のさらなる推進	33.9%																																	
県版HACCP認定制度のさらなる推進	26.5%	39.7%																																
食の安全安心に関する講習会などの学習機会づくり	19.7%	25.6%																																
県民、事業者、行政が相互に意見を交換できる機会づくり	17.8%	20.5%																																
子どもを対象とした手洗い教室などの衛生教育	16.3%	21.9%																																
特になし	1.3%	1.4%																																
その他	1.8%	4.1%																																

項 目	アンケート結果																																	
<p>食中毒防止のために心がけていること</p> <p>[Q7] あなたは日頃から食中毒防止に心がけていますか。</p>	<p>全体では「はい」が9割(92.8%)を超えている。性別では男性より女性、年代別では年代が上がるに従い高くなっている。</p> <p>【全体・性別】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>92.8%</td> <td>7.2%</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>90.6%</td> <td>9.4%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>95.0%</td> <td>5.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【年代別】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>はい (%)</th> <th>いいえ (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>~20代</td> <td>86.0%</td> <td>14.0%</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>87.6%</td> <td>12.4%</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>89.7%</td> <td>10.3%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>91.4%</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>95.1%</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>70代~</td> <td>95.7%</td> <td>4.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ はい □ いいえ</p>	性別	はい (%)	いいえ (%)	全体	92.8%	7.2%	男性	90.6%	9.4%	女性	95.0%	5.0%	年代	はい (%)	いいえ (%)	~20代	86.0%	14.0%	30代	87.6%	12.4%	40代	89.7%	10.3%	50代	91.4%	8.6%	60代	95.1%	4.9%	70代~	95.7%	4.3%
性別	はい (%)	いいえ (%)																																
全体	92.8%	7.2%																																
男性	90.6%	9.4%																																
女性	95.0%	5.0%																																
年代	はい (%)	いいえ (%)																																
~20代	86.0%	14.0%																																
30代	87.6%	12.4%																																
40代	89.7%	10.3%																																
50代	91.4%	8.6%																																
60代	95.1%	4.9%																																
70代~	95.7%	4.3%																																

項 目	アンケート結果																																							
<p>食中毒防止のために実践していること</p> <p>[Q7-2] あなたが食中毒の防止に心がけていることは何ですか。(いくつでも)</p>	<p>「調理前や食事前には必ず手を洗う(74.5%)」が最も高く、「素人判断で採取したキノコなどは食べない(71.7%)」、「牛肉のユッケやタタキなどの生食を避ける(68.2%)」が続いている。すべての項目が前回調査を上回っている。</p> <table border="1"> <caption>食中毒防止の実践方法とその割合</caption> <thead> <tr> <th>実践方法</th> <th>前回調査 (%)</th> <th>今回調査 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調理前や食事前には必ず手を洗う</td> <td>63.9%</td> <td>74.5%</td> </tr> <tr> <td>素人判断で採取したキノコなどは食べない</td> <td>64.4%</td> <td>71.7%</td> </tr> <tr> <td>牛肉のユッケやタタキなどの生食(外食を含む)を避ける</td> <td>64.8%</td> <td>68.2%</td> </tr> <tr> <td>鶏肉の刺身やタタキなどの生食(外食を含む)を避ける</td> <td>60.0%</td> <td>64.1%</td> </tr> <tr> <td>食材の温度管理に気をつけている</td> <td>44.0%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>牡蠣(カキ)の生食(外食を含む)を避ける</td> <td>49.9%</td> <td>57.9%</td> </tr> <tr> <td>調理後はなるべく早く食べる</td> <td>45.2%</td> <td>52.3%</td> </tr> <tr> <td>念入りに加熱調理している</td> <td>41.5%</td> <td>48.7%</td> </tr> <tr> <td>生ものを取り扱う包丁やまな板は専用になっている</td> <td>31.8%</td> <td>33.2%</td> </tr> <tr> <td>食材を厳選している</td> <td>31.5%</td> <td>32.6%</td> </tr> <tr> <td>特に気にしていない</td> <td>2.5%</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3.8%</td> <td>2.6%</td> </tr> </tbody> </table>	実践方法	前回調査 (%)	今回調査 (%)	調理前や食事前には必ず手を洗う	63.9%	74.5%	素人判断で採取したキノコなどは食べない	64.4%	71.7%	牛肉のユッケやタタキなどの生食(外食を含む)を避ける	64.8%	68.2%	鶏肉の刺身やタタキなどの生食(外食を含む)を避ける	60.0%	64.1%	食材の温度管理に気をつけている	44.0%	63.3%	牡蠣(カキ)の生食(外食を含む)を避ける	49.9%	57.9%	調理後はなるべく早く食べる	45.2%	52.3%	念入りに加熱調理している	41.5%	48.7%	生ものを取り扱う包丁やまな板は専用になっている	31.8%	33.2%	食材を厳選している	31.5%	32.6%	特に気にしていない	2.5%	0.5%	その他	3.8%	2.6%
実践方法	前回調査 (%)	今回調査 (%)																																						
調理前や食事前には必ず手を洗う	63.9%	74.5%																																						
素人判断で採取したキノコなどは食べない	64.4%	71.7%																																						
牛肉のユッケやタタキなどの生食(外食を含む)を避ける	64.8%	68.2%																																						
鶏肉の刺身やタタキなどの生食(外食を含む)を避ける	60.0%	64.1%																																						
食材の温度管理に気をつけている	44.0%	63.3%																																						
牡蠣(カキ)の生食(外食を含む)を避ける	49.9%	57.9%																																						
調理後はなるべく早く食べる	45.2%	52.3%																																						
念入りに加熱調理している	41.5%	48.7%																																						
生ものを取り扱う包丁やまな板は専用になっている	31.8%	33.2%																																						
食材を厳選している	31.5%	32.6%																																						
特に気にしていない	2.5%	0.5%																																						
その他	3.8%	2.6%																																						

項目	アンケート結果																																																																	
<p>兵庫県食品衛生管理プログラム (県版HACCP(ハサップ)認定制度) の認知度</p> <p>[Q8] あなたは、兵庫県食品衛生管理プログラム(県版HACCP(ハサップ)認定制度)を知っていますか。</p> <p>【兵庫県食品衛生管理プログラム(県版HACCP認定制度)】 安全で安心な食品を提供するため、HACCP(※1)に基づく自主衛生管理や、食品トレーサビリティ(※2)の取組が一定水準以上である県内の食品関係事業所について、知事が認定する制度。 認定された施設で製造された食品には認定マークを表示することができる。</p> <p>※1 HACCP…食品の製造において重要な工程を連続的に監視することで製品の安全性を保証しようとする手法</p> <p>※2 食品トレーサビリティ…生産、加工、流通等の各段階で原材料の出所や食品の製造元、販売先等の情報を記録・保管し、食品とその情報を追跡・遡及できるようにすること</p>	<p>「言葉は知っている」を含めて『知っている』は約半数(48.3%)となっており、前回調査(H28第1回県民モニター調査)より8.2ポイント上昇している。</p> <div data-bbox="619 405 1452 907"> <table border="1"> <caption>認知度別割合</caption> <tr><th>認知度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>言葉も内容も知らない</td><td>59.9%</td></tr> <tr><td>言葉は知っているが、内容は知らない</td><td>28.4%</td></tr> <tr><td>言葉も内容も知っている</td><td>11.7%</td></tr> <tr><td>『知っている』(合計)</td><td>48.3%</td></tr> </table> </div> <p>()内の数字は前回調査結果。</p> <p>【地域別】</p> <p>『知っている』は東播磨(55.0%)、西播磨(53.4%)、淡路(52.0%)が高くなっている。</p> <div data-bbox="406 1146 1492 2049"> <table border="1"> <caption>地域別認知度割合</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>言葉も内容も知っている</th> <th>言葉は知っているが、内容は知らない</th> <th>言葉も内容も知らない</th> <th>『知っている』(合計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>神戸</td><td>11.8%</td><td>36.7%</td><td>51.4%</td><td>48.5%</td></tr> <tr><td>阪神南</td><td>12.1%</td><td>35.5%</td><td>52.4%</td><td>47.6%</td></tr> <tr><td>阪神北</td><td>10.6%</td><td>36.0%</td><td>53.4%</td><td>46.6%</td></tr> <tr><td>東播磨</td><td>10.5%</td><td>44.5%</td><td>45.0%</td><td>55.0%</td></tr> <tr><td>北播磨</td><td>4.5%</td><td>36.4%</td><td>59.1%</td><td>40.9%</td></tr> <tr><td>中播磨</td><td>13.5%</td><td>33.3%</td><td>53.2%</td><td>46.8%</td></tr> <tr><td>西播磨</td><td>11.7%</td><td>41.7%</td><td>46.7%</td><td>53.4%</td></tr> <tr><td>但馬</td><td>15.2%</td><td>21.2%</td><td>63.6%</td><td>36.4%</td></tr> <tr><td>丹波</td><td>8.6%</td><td>31.4%</td><td>60.0%</td><td>40.0%</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>13.5%</td><td>38.5%</td><td>48.1%</td><td>52.0%</td></tr> </tbody> </table> </div>	認知度	割合	言葉も内容も知らない	59.9%	言葉は知っているが、内容は知らない	28.4%	言葉も内容も知っている	11.7%	『知っている』(合計)	48.3%	地域	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	『知っている』(合計)	神戸	11.8%	36.7%	51.4%	48.5%	阪神南	12.1%	35.5%	52.4%	47.6%	阪神北	10.6%	36.0%	53.4%	46.6%	東播磨	10.5%	44.5%	45.0%	55.0%	北播磨	4.5%	36.4%	59.1%	40.9%	中播磨	13.5%	33.3%	53.2%	46.8%	西播磨	11.7%	41.7%	46.7%	53.4%	但馬	15.2%	21.2%	63.6%	36.4%	丹波	8.6%	31.4%	60.0%	40.0%	淡路	13.5%	38.5%	48.1%	52.0%
認知度	割合																																																																	
言葉も内容も知らない	59.9%																																																																	
言葉は知っているが、内容は知らない	28.4%																																																																	
言葉も内容も知っている	11.7%																																																																	
『知っている』(合計)	48.3%																																																																	
地域	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	『知っている』(合計)																																																														
神戸	11.8%	36.7%	51.4%	48.5%																																																														
阪神南	12.1%	35.5%	52.4%	47.6%																																																														
阪神北	10.6%	36.0%	53.4%	46.6%																																																														
東播磨	10.5%	44.5%	45.0%	55.0%																																																														
北播磨	4.5%	36.4%	59.1%	40.9%																																																														
中播磨	13.5%	33.3%	53.2%	46.8%																																																														
西播磨	11.7%	41.7%	46.7%	53.4%																																																														
但馬	15.2%	21.2%	63.6%	36.4%																																																														
丹波	8.6%	31.4%	60.0%	40.0%																																																														
淡路	13.5%	38.5%	48.1%	52.0%																																																														

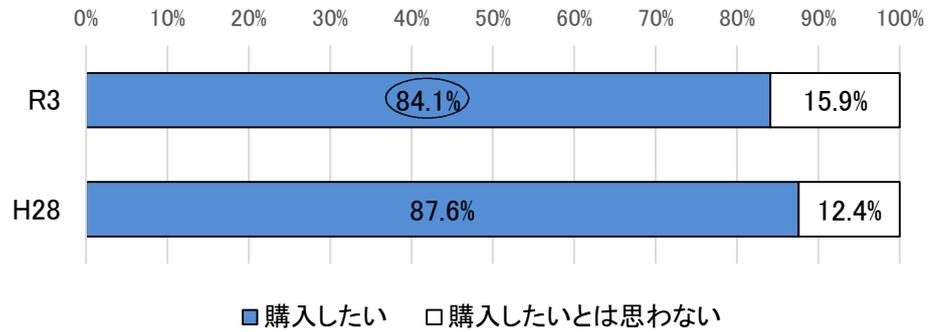
項 目

アンケート結果

県版HACCP認定制度のマークが表示された食品の購入希望状況

[Q9]「県版HACCP（ハサップ）認定制度」のマークが表示された食品が販売されていれば購入したいですか。

「購入したい」は8割を超えている(84.1%)。



【年代別】

「購入したい」は30代を除く世代で8割を超えている。

	購入したい	購入したいとは思わない
全体	84.1%	15.9%
～20代	81.4%	18.6%
30代	70.5%	29.5%
40代	81.6%	18.4%
50代	84.2%	15.8%
60代	84.8%	15.2%
70代～	88.9%	11.1%
ポイント差	18.4	18.4

回答項目での最高値

回答項目での最低値

項 目

アンケート結果

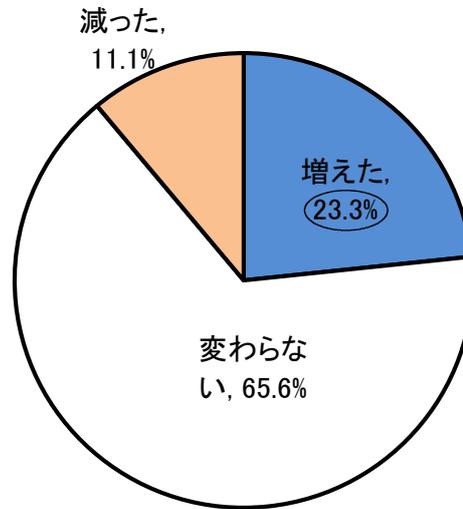
コロナ禍での中食の頻度

[Q10] 新型コロナウイルス感染症の拡大により、あなたは新型コロナウイルス感染症発生前より中食(注)の頻度に変化はありましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

【中食(なかしょく)】

惣菜店やコンビニエンスストア・スーパーなどでお弁当や惣菜などを購入したり、外食店のデリバリーなどを利用して、家庭や職場などで食べること。

中食の頻度が「増えた」は2割を超えている(23.3%)。



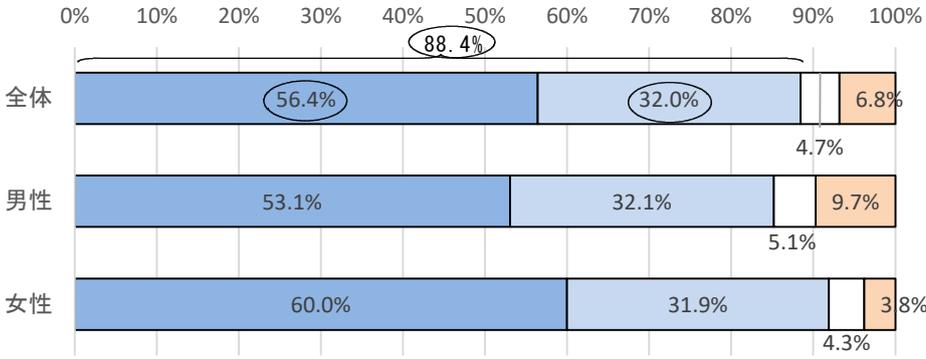
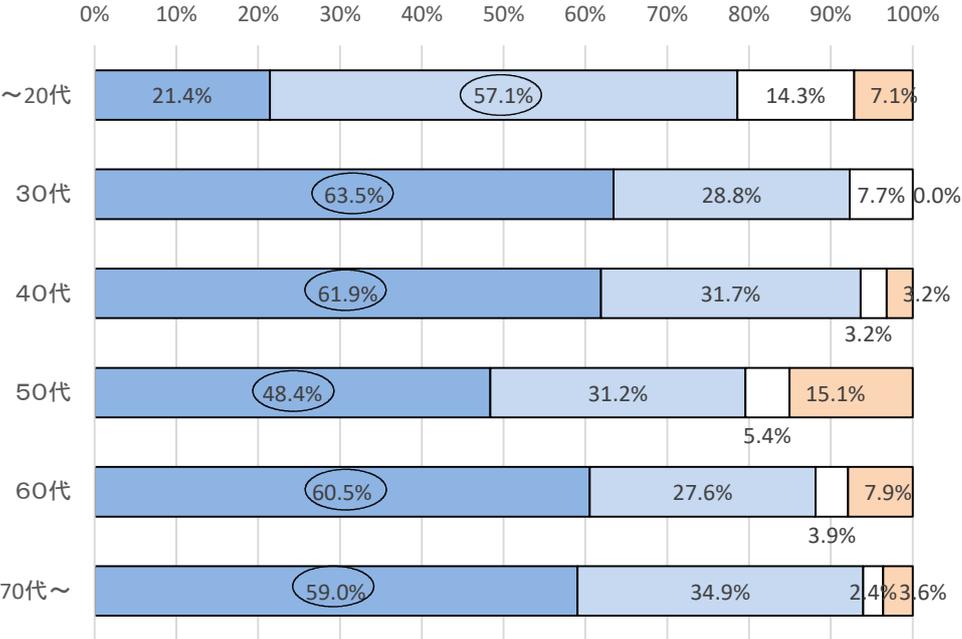
【年代別】

30代は「増えた」が4割を超えている(40.3%)。

	増えた	変わらない	減った
全体	23.3%	65.6%	11.1%
~20代	32.6%	60.5%	7.0%
30代	40.3%	51.9%	7.8%
40代	24.1%	66.3%	9.6%
50代	26.9%	64.5%	8.6%
60代	19.6%	68.0%	12.4%
70代~	17.8%	68.3%	13.9%
ポイント差	22.5	16.4	6.9

回答項目での最高値

回答項目での最低値

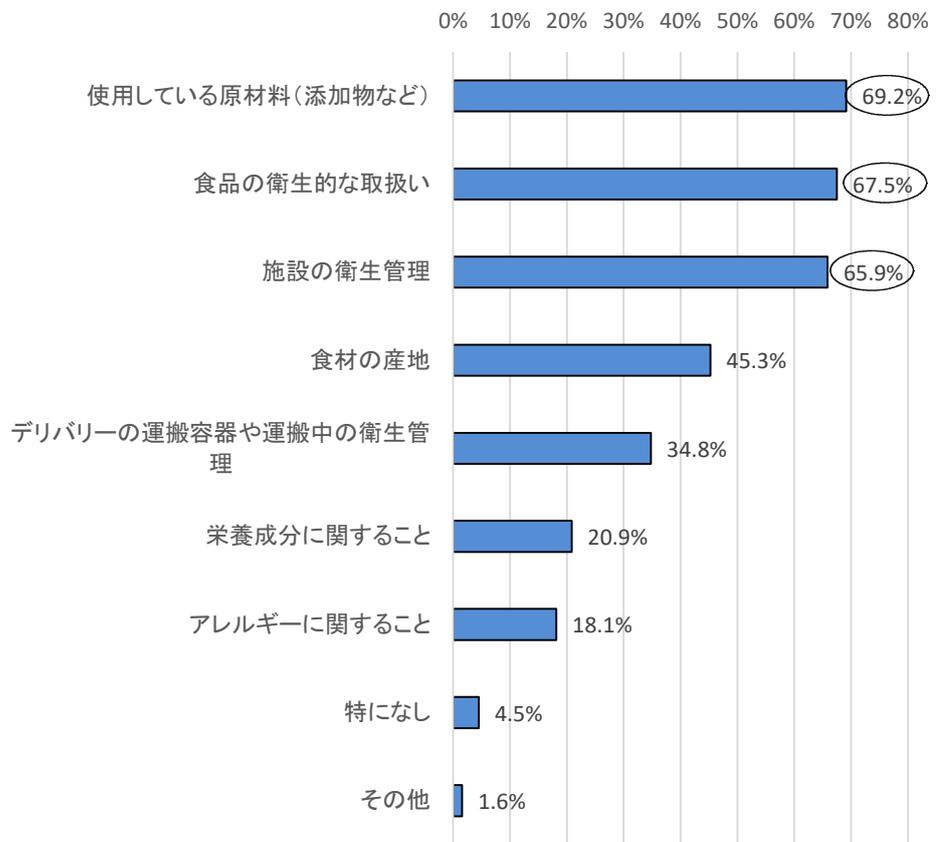
項 目	アンケート結果																																																							
<p data-bbox="108 219 371 315">「増えた」後の中食の回数</p> <p data-bbox="108 342 371 607">[Q10-2] Q10で選択肢「増えた」を選ばれた方にお聞きします。増えた結果、週何回くらい中食をしていますか。</p>	<p data-bbox="403 219 1485 315">「週1～2回(56.4%)」「週3～4回(32.0%)」の合計が約9割になっている(88.4%)。</p>  <table border="1" data-bbox="507 353 1433 712"> <caption>中食の回数に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>週1～2回</th> <th>週3～4回</th> <th>週5～6回</th> <th>毎日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>56.4%</td> <td>32.0%</td> <td>4.7%</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>53.1%</td> <td>32.1%</td> <td>5.1%</td> <td>9.7%</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>60.0%</td> <td>31.9%</td> <td>4.3%</td> <td>3.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="419 801 560 842">【年代別】</p> <p data-bbox="403 864 1485 960">～20代では「週3～4回」が最も高く、30代以上は「週1～2回」が最も高くなっている。</p>  <table border="1" data-bbox="491 1014 1453 1653"> <caption>年代別の中食の回数に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>年代</th> <th>週1～2回</th> <th>週3～4回</th> <th>週5～6回</th> <th>毎日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～20代</td> <td>21.4%</td> <td>57.1%</td> <td>14.3%</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>63.5%</td> <td>28.8%</td> <td>7.7%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>61.9%</td> <td>31.7%</td> <td>3.2%</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>48.4%</td> <td>31.2%</td> <td>5.4%</td> <td>15.1%</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>60.5%</td> <td>27.6%</td> <td>3.9%</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td>70代～</td> <td>59.0%</td> <td>34.9%</td> <td>2.4%</td> <td>3.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="707 1686 1230 1720">■ 週1～2回 □ 週3～4回 □ 週5～6回 ■ 毎日</p>	性別	週1～2回	週3～4回	週5～6回	毎日	全体	56.4%	32.0%	4.7%	6.8%	男性	53.1%	32.1%	5.1%	9.7%	女性	60.0%	31.9%	4.3%	3.8%	年代	週1～2回	週3～4回	週5～6回	毎日	～20代	21.4%	57.1%	14.3%	7.1%	30代	63.5%	28.8%	7.7%	0.0%	40代	61.9%	31.7%	3.2%	3.2%	50代	48.4%	31.2%	5.4%	15.1%	60代	60.5%	27.6%	3.9%	7.9%	70代～	59.0%	34.9%	2.4%	3.6%
性別	週1～2回	週3～4回	週5～6回	毎日																																																				
全体	56.4%	32.0%	4.7%	6.8%																																																				
男性	53.1%	32.1%	5.1%	9.7%																																																				
女性	60.0%	31.9%	4.3%	3.8%																																																				
年代	週1～2回	週3～4回	週5～6回	毎日																																																				
～20代	21.4%	57.1%	14.3%	7.1%																																																				
30代	63.5%	28.8%	7.7%	0.0%																																																				
40代	61.9%	31.7%	3.2%	3.2%																																																				
50代	48.4%	31.2%	5.4%	15.1%																																																				
60代	60.5%	27.6%	3.9%	7.9%																																																				
70代～	59.0%	34.9%	2.4%	3.6%																																																				

項 目	アンケート結果
-----	---------

**中食をする際に
知りたい情報**

[Q11] あなたは中食をする際に、どのような情報が知りたいですか。

「使用している原材料(69.2%)」が最も高く、次いで「食品の衛生的な取扱い(67.5%)」「施設の衛生管理(65.9%)」が高くなっている。



【年代別】

「衛生面」では高齢者が高く、「栄養成分に関すること」、「アレルギーに関すること」では若年層が高くなっている。

衛生面

	使用している原材料(添加物など)	食品の衛生的な取扱い	施設の衛生管理	食材の産地	デリバリーの運搬容器や運搬中の衛生管理	栄養成分に関すること	アレルギーに関すること	特になし	その他
全体	① 69.2%	② 67.5%	③ 65.9%	④ 45.3%	⑤ 34.8%	⑥ 20.9%	⑦ 18.1%	⑧ 4.5%	⑨ 1.6%
～20代	① 58.1%	② 51.2%	④ 37.2%	⑤ 32.6%	⑦ 23.3%	③ 41.9%	⑥ 25.6%	⑧ 4.7%	⑨ 0.0%
30代	③ 54.3%	① 61.2%	② 56.6%	④ 41.9%	⑤ 38.8%	⑥ 30.2%	⑦ 17.8%	⑧ 7.0%	⑨ 3.9%
40代	① 73.2%	② 62.5%	③ 59.0%	④ 46.0%	⑤ 26.4%	⑦ 21.1%	⑥ 21.5%	⑧ 5.4%	⑨ 0.0%
50代	① 73.1%	② 68.2%	③ 65.6%	④ 46.7%	⑤ 36.7%	⑥ 19.8%	⑦ 16.0%	⑧ 3.4%	⑨ 1.7%
60代	① 72.2%	③ 68.3%	② 68.6%	④ 46.4%	⑤ 36.3%	⑥ 18.6%	⑦ 14.9%	⑧ 4.4%	⑨ 1.5%
～70代	③ 66.6%	② 72.4%	① 72.8%	④ 45.0%	⑤ 36.8%	⑦ 19.1%	⑥ 19.9%	⑧ 4.3%	⑨ 1.9%
ポイント差	18.9	21.2	35.6	14.1	15.5	23.3	10.7	3.6	3.9

○数字はその年代での順位
 回答項目での最高値
 回答項目での最低値

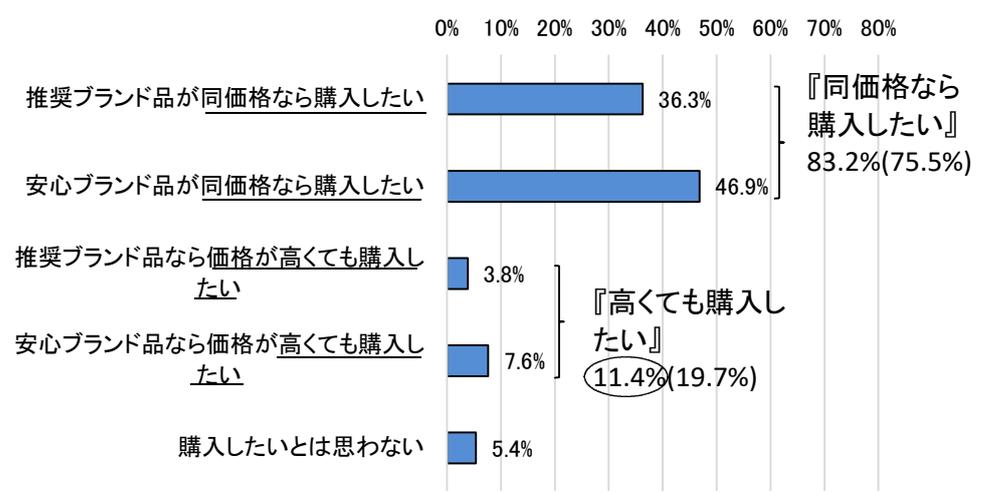
項 目	アンケート結果																																																																			
<p>兵庫県認証食品の認知度</p> <p>〔Q12〕あなたは、兵庫県認証食品を知っていますか。</p> <p>【兵庫県認証食品】 県産食品が持つ本来のおいしさ等が十分に評価されるように、安全、安心で個性・特長がある県産食品を「兵庫県認証食品」として認証したものの。</p>	<p>「言葉は知っている」を含めた『知っている』は50.3%で、前回調査よりも8.8ポイント増加している。</p> <p>『知っている』</p> <table border="1"> <caption>認知度調査結果</caption> <thead> <tr> <th>調査年度</th> <th>言葉も内容も知っている</th> <th>言葉は知っているが、内容は知らない</th> <th>言葉も内容も知らない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>15.5%</td> <td>34.8%</td> <td>49.7%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>14.1%</td> <td>27.4%</td> <td>58.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 言葉も内容も知っている □ 言葉は知っているが、内容は知らない ■ 言葉も内容も知らない</p> <p>【地域別】</p> <p>『知っている』は、西播磨(63.4%)、東播磨(56.9%)、淡路(55.7%)で高くなっている。</p> <table border="1"> <caption>地域別認知度調査結果</caption> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>言葉も内容も知っている</th> <th>言葉は知っているが、内容は知らない</th> <th>言葉も内容も知らない</th> <th>『知っている』</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>神戸</td> <td>16.8%</td> <td>32.3%</td> <td>50.8%</td> <td>49.1%</td> </tr> <tr> <td>阪神南</td> <td>11.7%</td> <td>33.3%</td> <td>55.0%</td> <td>45.0%</td> </tr> <tr> <td>阪神北</td> <td>14.3%</td> <td>32.3%</td> <td>53.4%</td> <td>46.6%</td> </tr> <tr> <td>東播磨</td> <td>17.2%</td> <td>39.7%</td> <td>43.1%</td> <td>56.9%</td> </tr> <tr> <td>北播磨</td> <td>10.6%</td> <td>43.9%</td> <td>45.5%</td> <td>54.5%</td> </tr> <tr> <td>中播磨</td> <td>15.9%</td> <td>34.9%</td> <td>49.2%</td> <td>50.8%</td> </tr> <tr> <td>西播磨</td> <td>16.7%</td> <td>46.7%</td> <td>36.7%</td> <td>63.4%</td> </tr> <tr> <td>但馬</td> <td>21.2%</td> <td>33.3%</td> <td>45.5%</td> <td>54.5%</td> </tr> <tr> <td>丹波</td> <td>5.7%</td> <td>37.1%</td> <td>57.1%</td> <td>42.8%</td> </tr> <tr> <td>淡路</td> <td>19.2%</td> <td>36.5%</td> <td>44.2%</td> <td>55.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 言葉も内容も知っている □ 言葉は知っているが、内容は知らない ■ 言葉も内容も知らない</p>	調査年度	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	R3	15.5%	34.8%	49.7%	H28	14.1%	27.4%	58.5%	地域	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	『知っている』	神戸	16.8%	32.3%	50.8%	49.1%	阪神南	11.7%	33.3%	55.0%	45.0%	阪神北	14.3%	32.3%	53.4%	46.6%	東播磨	17.2%	39.7%	43.1%	56.9%	北播磨	10.6%	43.9%	45.5%	54.5%	中播磨	15.9%	34.9%	49.2%	50.8%	西播磨	16.7%	46.7%	36.7%	63.4%	但馬	21.2%	33.3%	45.5%	54.5%	丹波	5.7%	37.1%	57.1%	42.8%	淡路	19.2%	36.5%	44.2%	55.7%
調査年度	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない																																																																	
R3	15.5%	34.8%	49.7%																																																																	
H28	14.1%	27.4%	58.5%																																																																	
地域	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが、内容は知らない	言葉も内容も知らない	『知っている』																																																																
神戸	16.8%	32.3%	50.8%	49.1%																																																																
阪神南	11.7%	33.3%	55.0%	45.0%																																																																
阪神北	14.3%	32.3%	53.4%	46.6%																																																																
東播磨	17.2%	39.7%	43.1%	56.9%																																																																
北播磨	10.6%	43.9%	45.5%	54.5%																																																																
中播磨	15.9%	34.9%	49.2%	50.8%																																																																
西播磨	16.7%	46.7%	36.7%	63.4%																																																																
但馬	21.2%	33.3%	45.5%	54.5%																																																																
丹波	5.7%	37.1%	57.1%	42.8%																																																																
淡路	19.2%	36.5%	44.2%	55.7%																																																																

アンケート結果

兵庫県認証食品の購入希望状況

[Q13] あなたは、兵庫県認証食品を購入したいですか。

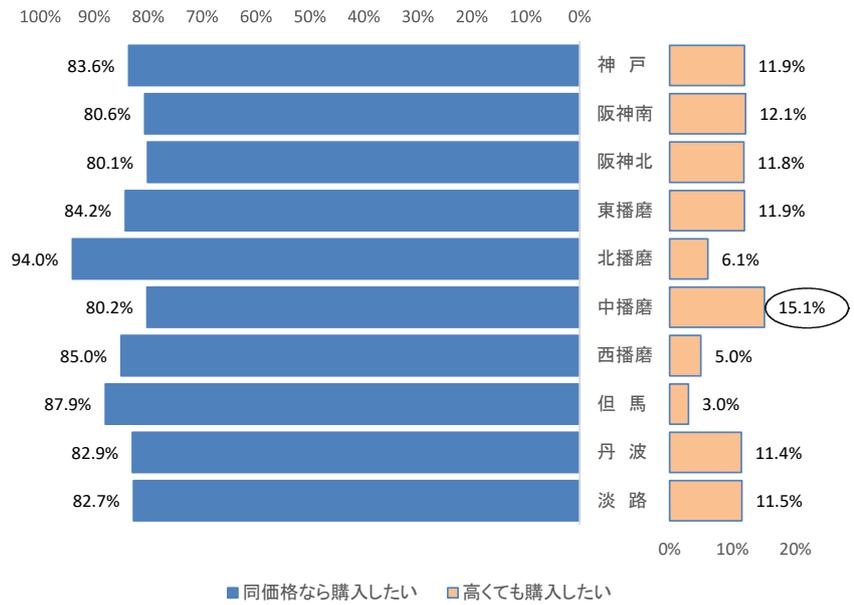
『高くても購入したい』は約1割になっている(11.4%)。



() 内数字は前回調査結果

【地域別】

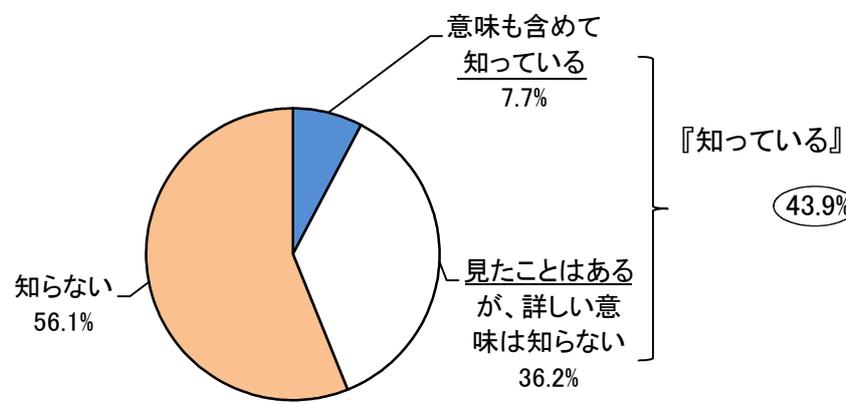
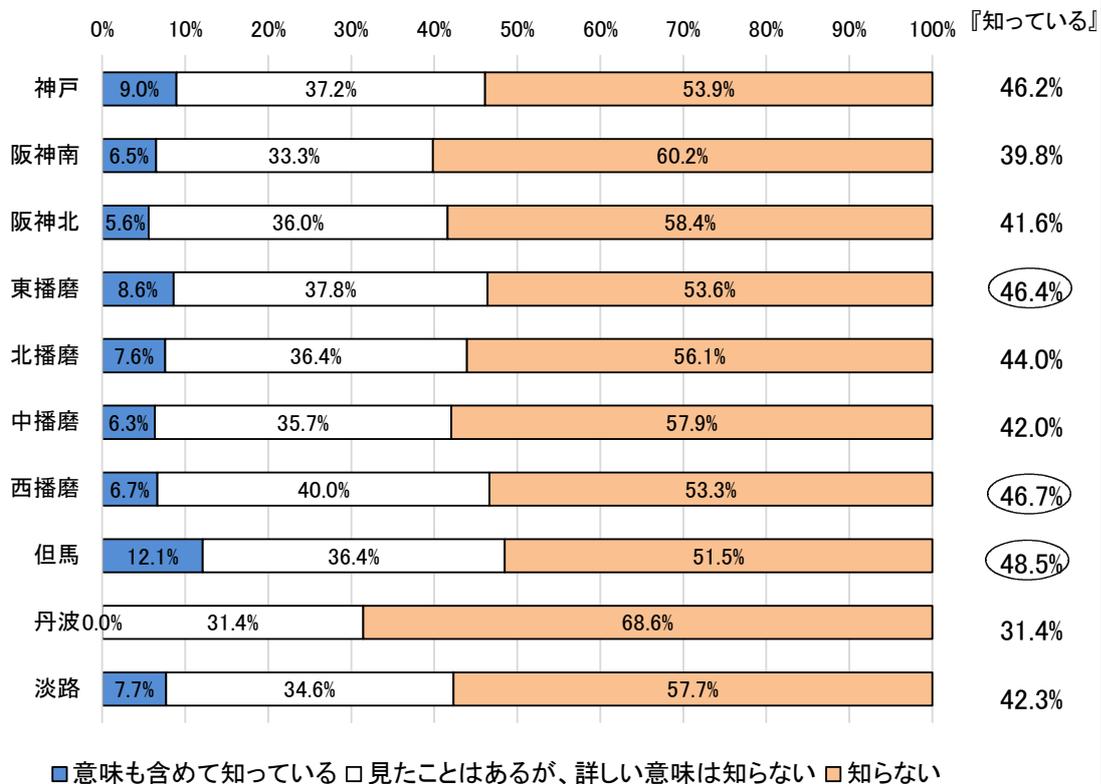
『高くても購入したい』は中播磨が高くなっている(15.1%)。



兵庫県認証食品の購入理由

[Q13-2]Q13で選択肢「価格が高くても購入したい」を選ばれた方にお聞きします。その理由をご記入ください。

安全・安心なものを使用したいから	61件
価格に応じた付加価値があると思うから	42件
県内の生産者を応援したいから	14件
県の認証なら信頼できるから	13件
おいしい・良い商品だから	5件
その他	7件

項目	アンケート結果																																																							
<p>兵庫県認証食品新ロゴマーク (R3年1月～) の認知度</p> <p>[Q14] 次のマークを知っていますか。</p>  <p><推奨ブランド></p> <p>県産の農林水産物及びこれらを主原料として製造された加工食品で、次の3つの基準すべてを満たしたもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個性特長」＝環境に配慮した生産方法、品質等の個性や特長があること ・「安全性の確保」＝食品衛生法等の法令基準が遵守されていること ・「安心感の醸成」＝生産者が生産履歴を開示する仕組みを整備していること <p><安心ブランド></p> <p>推奨ブランドの基準に加えて、残留農薬が国基準の10分の1以下であるなど、安全・安心面でより厳しい基準を満たしたもの</p>	<p>「見たことはある」を含めた『知っている』は4割を超えている(43.9%)。</p>  <p>『知っている』 43.9%</p> <p>意味も含めて知っている 7.7%</p> <p>見たことはあるが、詳しい意味は知らない 36.2%</p> <p>知らない 56.1%</p> <p>【地域別】</p> <p>『知っている』は、但馬(48.5%)、西播磨(46.7%)、東播磨(46.4%)、で高くなっている。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>意味も含めて知っている</th> <th>見たことはあるが、詳しい意味は知らない</th> <th>知らない</th> <th>『知っている』</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>神戸</td><td>9.0%</td><td>37.2%</td><td>53.9%</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>阪神南</td><td>6.5%</td><td>33.3%</td><td>60.2%</td><td>39.8%</td></tr> <tr><td>阪神北</td><td>5.6%</td><td>36.0%</td><td>58.4%</td><td>41.6%</td></tr> <tr><td>東播磨</td><td>8.6%</td><td>37.8%</td><td>53.6%</td><td>46.4%</td></tr> <tr><td>北播磨</td><td>7.6%</td><td>36.4%</td><td>56.1%</td><td>44.0%</td></tr> <tr><td>中播磨</td><td>6.3%</td><td>35.7%</td><td>57.9%</td><td>42.0%</td></tr> <tr><td>西播磨</td><td>6.7%</td><td>40.0%</td><td>53.3%</td><td>46.7%</td></tr> <tr><td>但馬</td><td>12.1%</td><td>36.4%</td><td>51.5%</td><td>48.5%</td></tr> <tr><td>丹波</td><td>0.0%</td><td>31.4%</td><td>68.6%</td><td>31.4%</td></tr> <tr><td>淡路</td><td>7.7%</td><td>34.6%</td><td>57.7%</td><td>42.3%</td></tr> </tbody> </table> <p>■意味も含めて知っている □見たことはあるが、詳しい意味は知らない □知らない</p>	地域	意味も含めて知っている	見たことはあるが、詳しい意味は知らない	知らない	『知っている』	神戸	9.0%	37.2%	53.9%	46.2%	阪神南	6.5%	33.3%	60.2%	39.8%	阪神北	5.6%	36.0%	58.4%	41.6%	東播磨	8.6%	37.8%	53.6%	46.4%	北播磨	7.6%	36.4%	56.1%	44.0%	中播磨	6.3%	35.7%	57.9%	42.0%	西播磨	6.7%	40.0%	53.3%	46.7%	但馬	12.1%	36.4%	51.5%	48.5%	丹波	0.0%	31.4%	68.6%	31.4%	淡路	7.7%	34.6%	57.7%	42.3%
地域	意味も含めて知っている	見たことはあるが、詳しい意味は知らない	知らない	『知っている』																																																				
神戸	9.0%	37.2%	53.9%	46.2%																																																				
阪神南	6.5%	33.3%	60.2%	39.8%																																																				
阪神北	5.6%	36.0%	58.4%	41.6%																																																				
東播磨	8.6%	37.8%	53.6%	46.4%																																																				
北播磨	7.6%	36.4%	56.1%	44.0%																																																				
中播磨	6.3%	35.7%	57.9%	42.0%																																																				
西播磨	6.7%	40.0%	53.3%	46.7%																																																				
但馬	12.1%	36.4%	51.5%	48.5%																																																				
丹波	0.0%	31.4%	68.6%	31.4%																																																				
淡路	7.7%	34.6%	57.7%	42.3%																																																				

【問い合わせ先】

企画県民部広聴課 078-362-3021